

授業科目名	子どもの食と栄養		担当教員名	今城 安喜子
科目区分	教職・保育に関する科目		施行規則に定める科目区分 等	保育の対象の理解に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)		授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	2年 前期 (1-2期) / 年間開講数 1講座		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 栄養職員、栄養士として長年にわたる実務経験を活かして、具体的に実践的な授業を行っている。
授業の概要及び全体目標	現在の子どもの食生活の状況について概説し、子どもと食の関係を考察する。そして、乳幼児期の成長・発達における栄養の重要性を理解し、保育の現場での適切な食育や食事の提供について学修する。また、食物アレルギー対応や食育の実践方法など、実践的な知識と技法を			
到達目標	(2)子どもの発育・発達と食生活の関係について理解を深め、選食力を身に付け、実践できる。 (3)食育の基本を理解し、児童福祉施設等も含めた現場で活用できる力を身につける。 (4)家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について理解する。 (5)特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。			
テキスト	子どもの食生活<第4版> -栄養・食育・保育- 上田玲子著			
参考書・参考資料等	配布資料			
成績評価の方法	授業態度 (50%) : 主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、規律性 小テスト (30%) : 学習の理解 レポート (20%) : テーマに沿った内容で学修したことを基にまとめられている			
授業外 (事前・事後) 学習の方法、オフィスアワー等	授業時間内で講評・解説の時間を設ける。 最終授業で全体に対するフィードバックを行う。			
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	ガイダンス 子どもの健康と食生活の意義			(1),(2),(3),(4),(5)
第2回	小児の発育・発達と栄養① (食と身体・味覚)			(1),(2)
第3回	小児の発育・発達と栄養② (消化・吸収・代謝・排泄)			(1),(2)
第4回	栄養に関する基礎知識①エネルギーと五大栄養素			(1),(2)
第5回	栄養に関する基礎知識②日本人の食事摂取基準と食品構成			(1),(2)
第6回	栄養に関する基礎知識③献立作成			(1),(2)
第7回	乳児期の食生活① (母乳栄養・人工栄養・調乳)			(1),(2)
第8回	乳児期の食生活② (離乳と離乳食)			(1),(2)
第9回	小児の発育・発達と栄養 (発育・発達の特徴)			(1),(2)
第10回	学童期・思春期の食生活			(1),(2)
第11回	生涯発達と食生活			(1),(2)
第12回	特別な配慮を要する子どもの食と栄養			(1),(2),(5)
第13回	家庭や児童福祉施設における食生活と課題点			(1),(2),(3),(4)
第14回	食育-食を通して、子育て子育てを支援する (ご節句・行事食・郷土料理・味覚教育)			(1),(3),(4)
第15回	総括 グループ発表会			(1),(2),(3),(4),(5)